

# 実績報告書

届出者	住所	東大阪市西鴻池町3-1-38	氏名	又永化工株式会社 代表取締役 堀江光平
特定事業者の主たる業種		18プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		硬質塩ビシートおよびシート成型事業		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)
----------	---------------------------------

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	3,402 t-CO <sub>2</sub>	3,691 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,701 t-CO <sub>2</sub>	4,137 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018 年度)	第1年度 (2016 年度)	第2年度 (2017 年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0 %	-6.3 %	-8.5 %
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	-4.8 %	-11.8 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>当社はカレンダー機械を用いたプラスチック製造業を営んでいることから、機能的生産順位を目指した製造工程の見直し、それに伴う機器昇温回数の減少ならびに連続運転から間欠運転への移行。また、製造ラインにおける用役/風量/圧力/流量の見直し、不用機器停止および製造ラインスピードの調整を行なうことにより、温室効果ガス排出3% (排出量ベース)削減を目標に工場長をリーダーとし全社一丸となり、取り組んでいく。</p>
<p>上記内容の取り組みは継続し実施しているが、新たに導入したシート成型ラインのエネルギー使用量が増加し、削減率はマイナスとなっている。</p>

(2) 推進体制

工場長をリーダーとして、定例会議の場で省エネルギー活動について情報提供を行うとともに、必要なメンテナンス等については、計画的に実施することとしている。

## 実績報告書

	届出者	住所	氏名
		東京都中央区晴海三丁目8番1号	株式会社 マックスパート 代表取締役 片山 達哉
特定事業者の主たる業種		75宿泊業	
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者
事業の概要		建物用途：宿泊施設・研修施設・体育館施設・レストラン施設	

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	3,198 t-CO <sub>2</sub>	3,126 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,649 t-CO <sub>2</sub>	3,405 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	2.5%	1.1%	2.3%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		2.6%	1.3%	6.7%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>平成29年度は引き続き冷暖房温度の適正化を継続すると共に、省エネルギーセンター等への相談を基に電気室等の温度適正、ガス吸収式冷温水発生器の運転管理の見直し等熱源管理を主体とする省エネに取り組み致しました。 平成30年度は、ELV機械室や電気室系統のPACの更新を実施し、バックヤードを主体とした省エネに取り組んでいます。 冷却塔の老朽化等の改善を協力業者と連携し、更なる省エネへの取り組みをプランニングしています。</p>
--

(2) 推進体制

ホテル支配人・副支配人と、施設管理責任者の連絡を密にして、両責任者は、責任をもって担当部署の全員に、省エネ手法を徹底するよう指導をする。

## 実績報告書

届出者	住所	大阪府松原市阿保 1-1-1	氏名	松原市 松原市長 澤井 宏文
特定事業者の主たる業種		98地方公務		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		地方自治法に基づいて、住民の日常生活に直接関係する事務を包括的に処理する。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
2016 年	4 月 1 日～ 2019 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	6,656 t-CO <sub>2</sub>	7,028 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	7,616 t-CO <sub>2</sub>	8,048 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018 年度)	第1年度 (2016 年度)	第2年度 (2017 年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0 %	-4.0 %	-5.6 %
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	-3.8 %	-5.7 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>新しい施設の開設に伴い、エネルギー使用量が増加したため温室効果ガス排出量が増加した。</p>
---

(2) 推進体制

地球温暖化対策の推進に関する松原市実行計画に基づき、松原市地球温暖化推進委員会を設置し、エネルギーの使用量を把握する中でCO2の削減に努めている。

# 実績報告書

届出者	住所	東京都武蔵野市中町1-14-5	氏名	株式会社松屋フーズ 代表取締役 瓦葺 一利
特定事業者の主たる業種		76飲食店		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		牛めし定食事業、とんかつ事業、 鮎事業、ラーメン事業、外販事業 他、 フランチャイズ形態による飲食店業の技術、および経営指導		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間	2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)
---------	---------------------------------

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	9,207 t-CO <sub>2</sub>	9,900 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	10,661 t-CO <sub>2</sub>	11,448 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 (2018年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	-4.3%	-7.6%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-4.3%	-7.4%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>店舗数増、売上増加及びオペレーション変更による施設稼働率上昇が排出量増加の主要因となっている。又、食数の高いメニューとオペレーションコストが高いメニューが比例している事も要因の一つとなっている。 計測が難しい中計画的な省エネの推進を進め、2017年度に開店した新店では、100%LED照明を設置した。又、制御コントローラー、高効率空調機等を積極的に採用し、より環境に配慮した運営を行った。</p>
---

(2) 推進体制

当社『環境方針』に基づき、組織体制を整え活動している



## 実績報告書

届出者	住所	大阪府東大阪市渋川町3丁目-9-25	氏名	株式会社万代 代表取締役 阿部 秀行
特定事業者の主たる業種		58飲食料品小売業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に、食料品の小売をしており、近畿圏で約147店舗を出店し、そのうち、大阪府内では99店舗の出店を行っている。		

### ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)

#### (2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	69,260 t-CO <sub>2</sub>	71,398 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	78,187 t-CO <sub>2</sub>	80,786 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

#### (3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 (2018年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	3.0%	11.4%	10.2%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	11.1%	10.0%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(床面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	
特になし。	

### ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

#### (1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

店舗改装時に、ショーケースの入れ替え、照明のLED化により、エネルギー使用量の削減に取り組んだ。
--

(2) 推進体制

総務部が主体となり、会議や研修を通して電気需要の平準化施策等を従業員に説明していく。